

糖尿病透析患者における透析前後の C ペプチドインデックス(CPI)の変化

医療法人衆和会 長崎腎病院 長崎腎クリニック

○船越 哲 大畑裕子 中村麻美 河野 舞 藤森勝敏 林田征俊 河津多代 一ノ瀬浩 佐々木修 澤瀬健次
橋口純一郎 原田孝司

【目的】

糖尿病透析患者における透析前後に CPI の変化を調査し、臨床パラメータの相関を検討する。

【対象・方法】

当院で維持透析中の 2 型糖尿病患者で、インスリン治療を行っていない 19 名の、中 2 日の透析日・透析翌日の空腹時に採血し血糖値および血中 C ペプチドから CPI を算出、CPI の変化と各血清因子や患者背景との相関を検討する。

【結果】

中 2 日の透析日の朝つまり前回の透析約 40 時間後の平均 CPI は $8.1 \pm 3.3 \text{ ng/mL}$ であり、透析翌日つまり透析約 16 時間後の平均 CPI は $6.7 \pm 2.7 \text{ ng/mL}$ と有意に低下していた。この CPI 低下率は、患者のグリコアルブミン値と強い相関がみられた ($R^2=0.6423$)。

【考案】

今回の透析による CPI の低下が、透析によるインスリン抵抗性改善を反映しているかは不明であるが、透析によるインスリン除去以外の因子が関与している可能性がある。